

令和元年度 地元報告会開催結果について【要旨】

日 時：令和2年7月18日（土） 13：30～

場 所：多摩ニュータウン環境組合 管理棟 見学者説明室

参加者：多摩市民11名

町田市民 1名 計12名

出席者：阿部管理者、富澤事務局長、三浦計画担当課長、中村施設課長、柚木総務課長（兼）
出納課長、江尻リサイクルセンター長、事務局2名

地元報告会の開催結果

次第1 阿部管理者あいさつ

次第2 報告内容

1 令和元年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組みについて報告

ア 安全対策

環境測定の充実、ISO14001の適切な運用、施設の主な整備（計量システム更新の紹介）、省エネ化（照明LED化・省エネ型ポンプへの更新）

イ たまかんニュース

年2回各90,000部を新聞折込にて発行、地域版は年2回 各回約3,500世帯へ職員によるポスティングを実施

ウ 多摩清掃工場の施設見学の実施

61団体2,730人

エ 地元自治会等対象清掃施設見学会

令和元年11月17日（日）に「さいたま市桜環境センター」へ地元自治会より3名の参加により実施

オ こども清掃工場見学会及び煙突登りにチャレンジ

令和元年7月30日から8月2日にかけて総勢103名の参加により実施

カ 地域交流ふれあい事業

令和元年10月20日にたまかんフェスタを開催。来場者は約2,700人

キ クリーンアップ作戦

清掃工場職員による工場周辺美化活動を毎月実施したこと、年末に唐木田クリーンアップ作戦2019と称し実行委員会形式により109名の参加により実施

ク 地元自治会等との情報交換会

令和元年11月2日（土）に第1回の情報交換会を実施し、第2回として3月に予定していた情報交換会については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり令和2年6月20日に開催

(2) ごみ搬入量の推移について報告

構成市の人口は増加しているが、ごみの搬入量については横這い傾向

(3) 令和元年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量について報告

八王子市拡大区域、構成市応援処理分を含め可燃ごみ 59,195 トン、
不燃ごみ 2,153 トン、粗大ごみ 2,322 トン、合計 63,670 トン

(4) 令和元年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況について報告

八王子市より令和元年 5 月 20 日から令和元年 7 月 12 日まで戸吹清掃工場の大規模
改修工事のため 3,384.77 トン 1,823 台の応援ごみを受け入れ

(5) 焼却炉運転日数について報告

1 炉運転 平成 30 年度 333 日、令和元年度 314 日、令和 2 年度 320 日(計画値)

2 炉運転 平成 30 年度 3 日、令和元年度 11 日、令和 2 年度 0 日(計画値)

全炉停止 平成 30 年度 29 日、令和元年度 41 日、令和 2 年度 45 日(計画値)

(6) 環境測定結果について報告

法令による規制基準値より厳しい自主規制値を定め、令和元年度の測定結果は
すべて自主規制値以下であり安定的運転であった。

2 令和元年度リサイクルセンター運営状況について

開館日数・来館者数 278 日 24,743 人 多目的室利用実績 302 回

リサイクル品販売実績 家具・木材等 6,067 個 自転車・部品 126 点

不用食器のリサイクル 持込者 558 人

3 令和 2 年度予算概要について

予算規模、歳入・歳出それぞれ 14 億 9,299 万 7 千円であることを説明。

歳入は負担金が 70.3%、諸収入が 21.0%となっている。

歳出予算としては、処理場費が 95.4%を占めている。

4 令和 2 年度の事業予定について

(1) 構成市間のごみ応援受け入れの実績と予定

八王子市から 6 月に可燃ごみ 274.65 トンを受入れ 9 月に約 300 トンを受入予定

(2) 工事の予定

焼却棟において特殊助剤タンク設置工事、照明 LED 化工事、空調設備改修工事を実
施予定

(3) 主なイベントについて

たまかんフェスタは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。10 月に代替え
事業としてイベントを実施予定。

唐木田クリーンアップ作戦は 12 月末に開催予定。

5 その他

(1) 不燃・粗大ごみ処理施設の火災について

清掃工場の火災により大量の煙が発生し、大変なご迷惑ご心配をおかけし誠に申し
訳ありません。令和 2 年 6 月 3 日(水)午前 10 時 25 分頃に出火、人的被害及び
施設の損傷はなし。出火原因は不明。経過としては 10 時 25 分頃に出火を発見、

初期消火を行ったが勢いが強く 119 番通報を行い消防署による消火により 16 時 38 分頃鎮火。

(2) 宮城県大崎市の災害廃棄物広域応援処理について

令和元年台風 19 号により発生した宮城県大崎市の稲わら等の災害廃棄物を都内にある清掃工場が分担して応援処理を行っている。当初は 4,000 トンの予定が令和 2 年 7 月に 3,000 トン追加の要請があり 7,000 トンを処理する予定。多摩地域 9 つの清掃工場と 23 区内で分担し、多摩地区は 3,500 トンの応援処理を受け持つ。期間は令和 2 年 2 月から令和 2 年 12 月まで。

(3) 令和 2 年度地元自治会等対象清掃施設見学会の実施予定について

多摩清掃工場への理解を深めて頂くため令和 2 年の秋頃に地元自治会の方を対象として、日帰りで開催することを予定しているが、新型コロナウイルス感染症による今後状況により開催する場合は改めてご案内をさせて頂く。

(4) 小平・村山・大和衛生組合の応援処理の調査について

多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定書に基づき小平・村山・大和衛生組合の建替に伴う可燃ごみの応援処理について受入可能性調査があった。予定期間としては令和 3 年度から施設更新期間中までの間で、相互協力の観点から同調査については前向きに検討する。現時点で受入れが決まったものではなく、このような話が来ていることをご報告させて頂いた。

(5) 新型コロナウイルス感染症に係わる宿泊療養施設から排出されるごみについて

新型コロナウイルス感染症に係わる感染者数が連日更新される状況で、東京都においてはホテルを貸し切り宿泊療養施設として運用している。そこで排出されたごみは一般廃棄物となるので、必要性が生じた場合は多摩清掃工場で処理を行う可能性がある。現在搬入はございませんが、仮に行う場合は十分に安全性に配慮したうえで情報提供を行いながら対応させて頂きたい。

(6) 情報交換会の開催について

令和 2 年 6 月 20 日（土）に地元自治会の役員の皆さまと組合とで情報交換会を開催した。今回、地元自治会と多摩清掃工場との様々な問題を協議する場として協議会の設立を提案させて頂いた。詳細については今後協議していく。

6 質疑応答

無し